

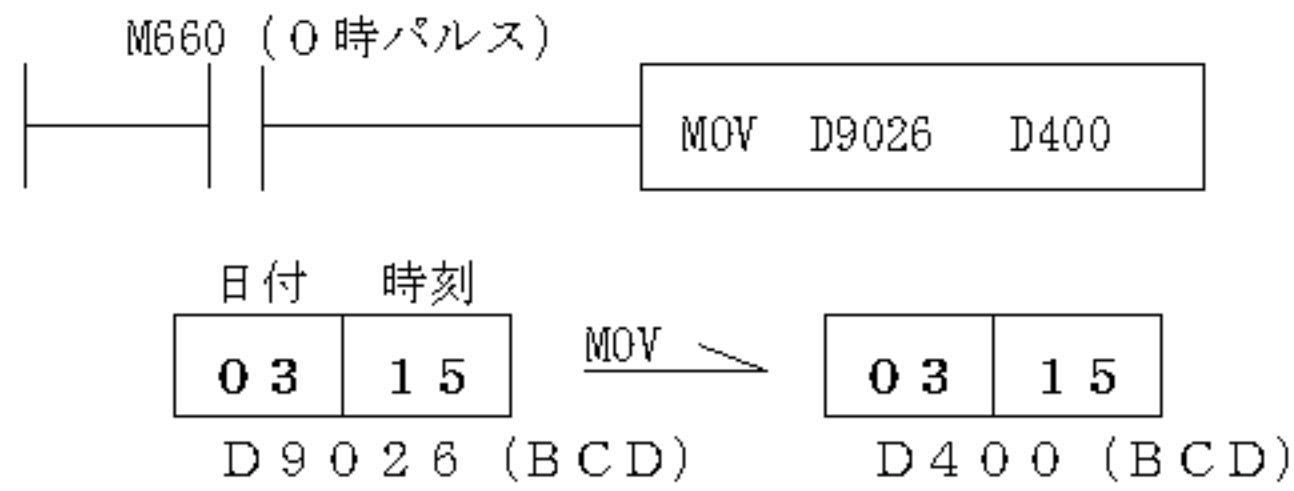
# 運転パターンと設定時刻の読出し方法の説明資料

ステップ 5801 から

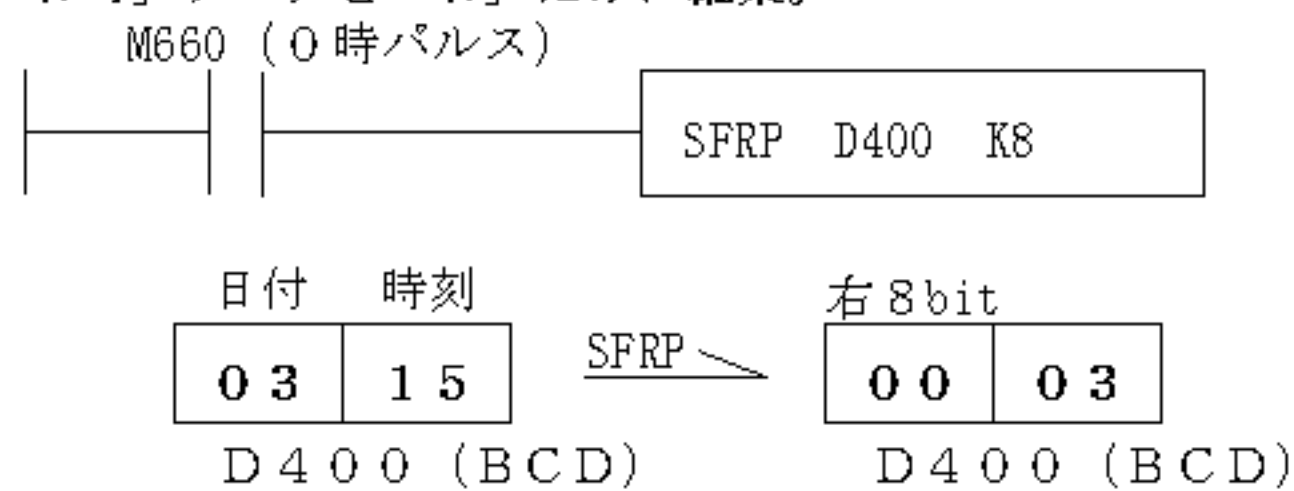
今日のシーケンサーのカレンダーから「日」を取り出しインデックスに使用。  
運転パターンのコードを読みとる。

(例) 現在が、3日15時としています。

作業用レジスタに時計の「日時」を取り出す。



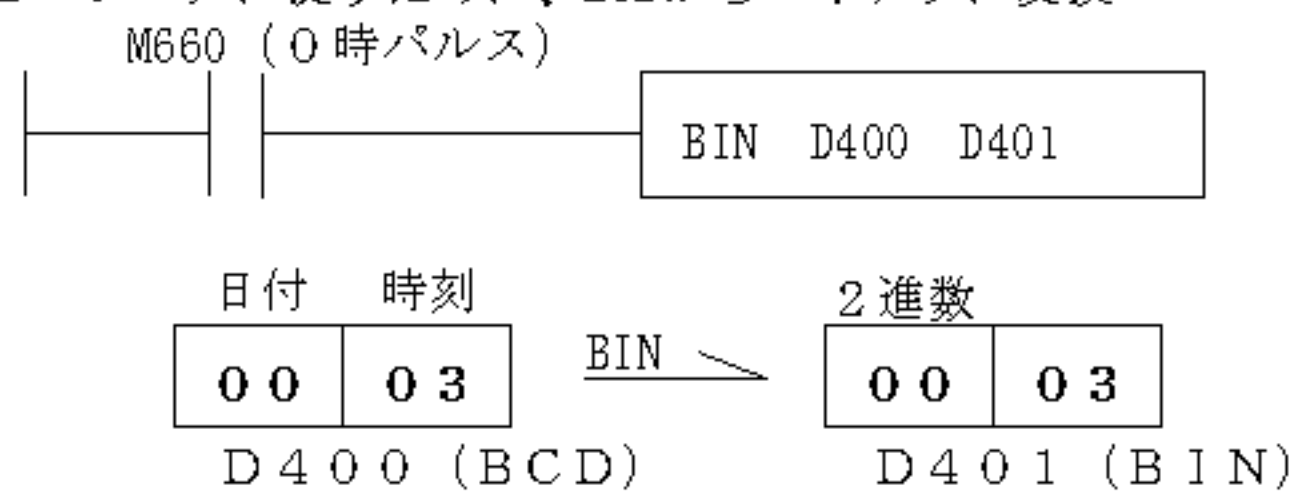
「日時」データを「日」だけに編集。



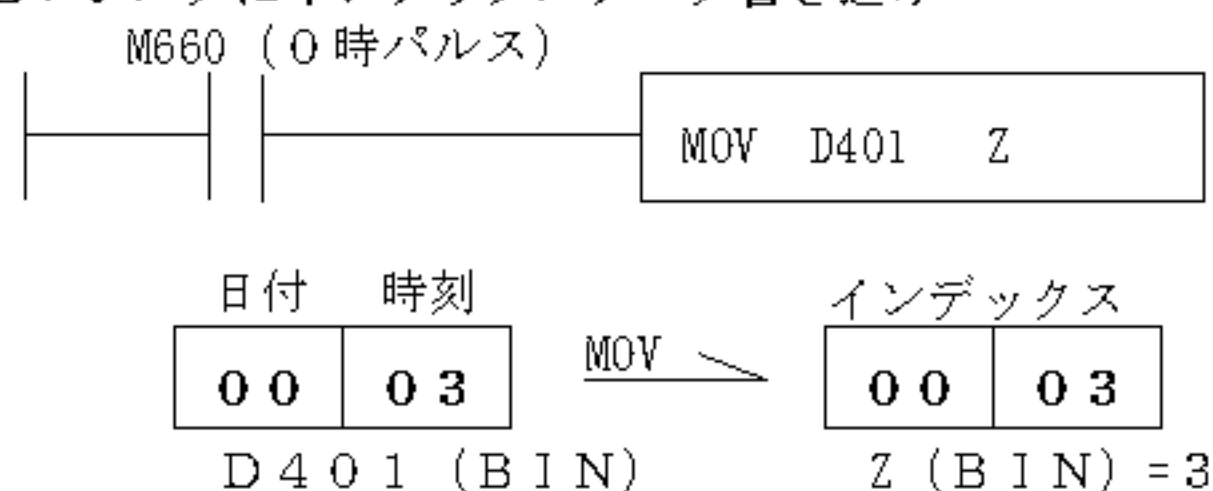
運転パターンのコードは例です。盛込計画で変わります。

並順	日付	格納アドレス	格納コード	コード意味
01	01	D61	01	パターン1
02	02	D62	01	パターン1
03	03	D63	04	パターン4
04	04	D64	02	パターン2
~	~	~	~	~
30	30	D90	01	パターン1
31	31	D91	08	休止

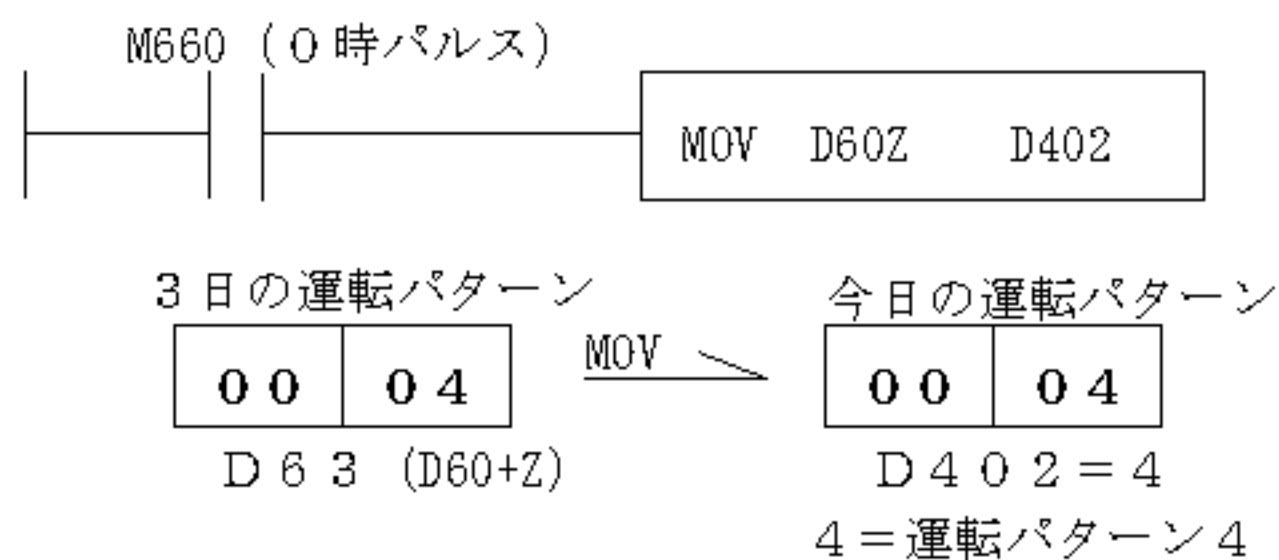
Zレジスタに使うために、BCDからバイナリに変換



Zレジスタにインデックスデータ書き込み



運転パターン格納レジスタテーブル (先頭D61) から  
インデックス位置の運転パターンを今日のパターンとして読む。

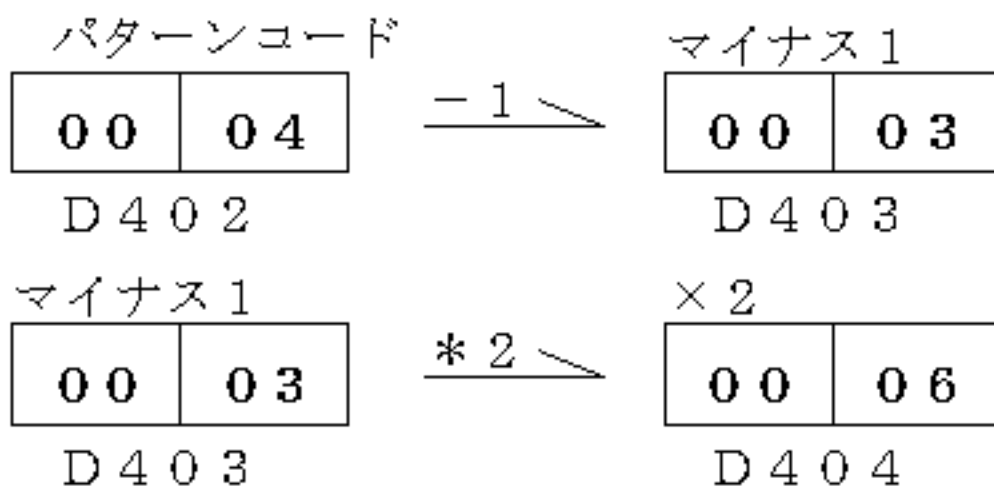
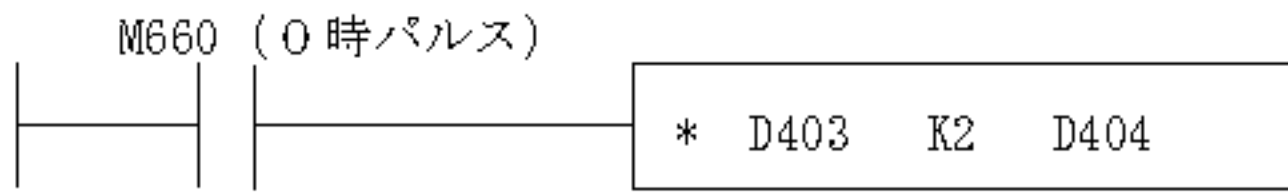
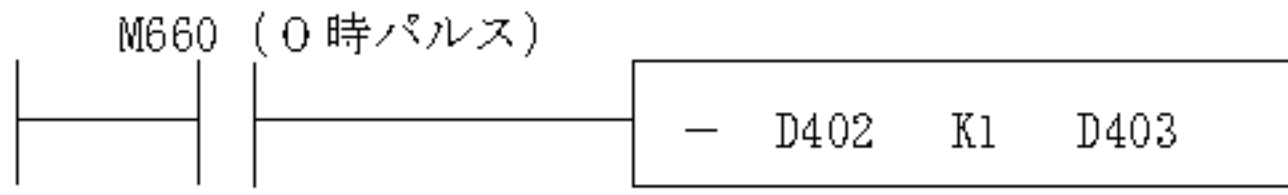


運転パターンによって「開始時刻」と「終了時刻」が決まっている場合には

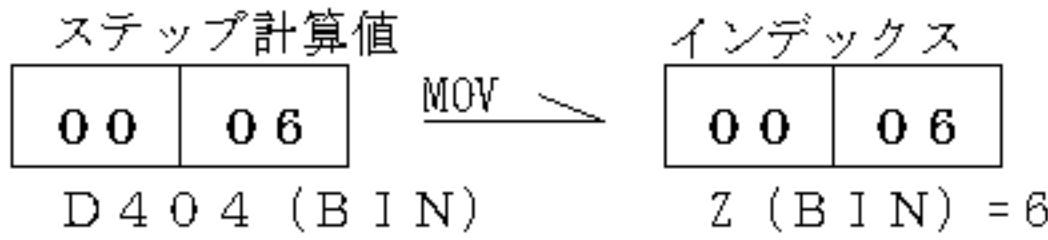
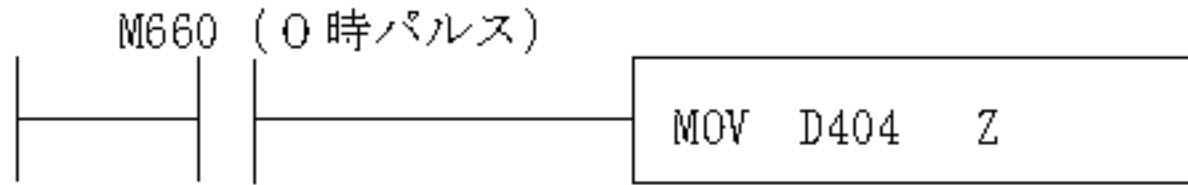
設定された運転パターンの「開始時刻」と「終了時刻」を取り出し、運転と停止を行えます。  
今日の運転パターンのコードをインデックスにして設定時刻格納テーブルから読みとる。

(例) 今日の運転パターンが、「パターン4」で、コード「4」としてあります。

格納レジスタテーブルの並び順が「開始時刻」「終了時刻」順なので、1つ飛びに読み込む準備。  
インデックスのステップ計算値  $Z = (\text{パターンコード} - 1) \times 2$  で計算



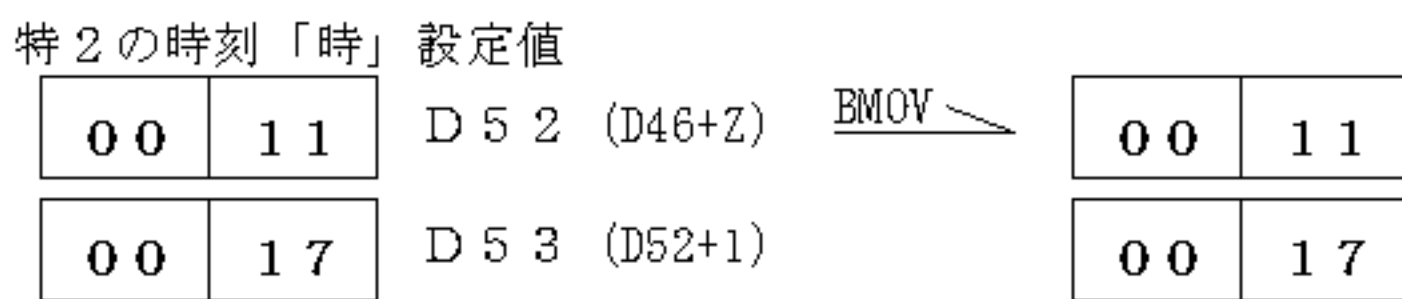
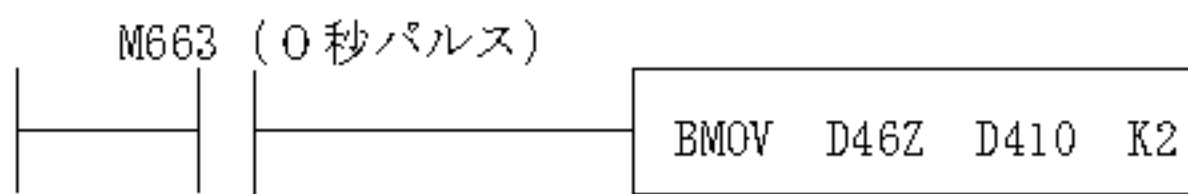
Zレジスタに、計算したインデックスデータ書き込み



設定「時」・「分」は例です。運転計画で変わります。

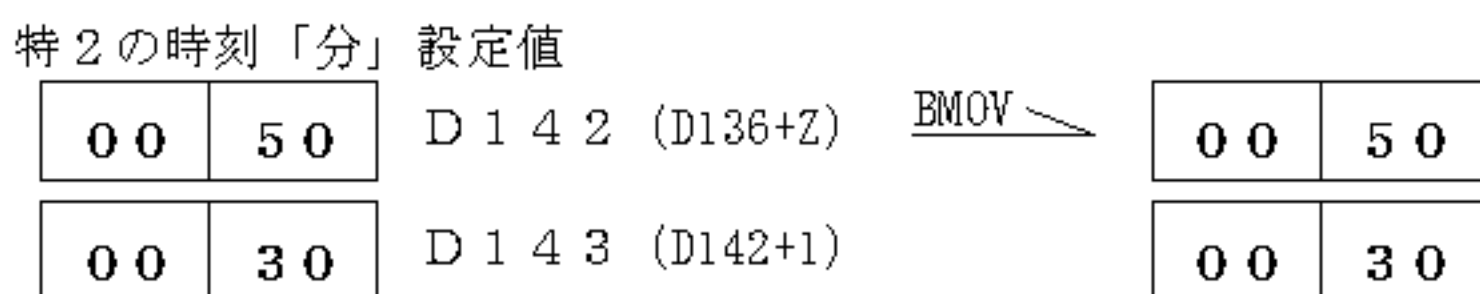
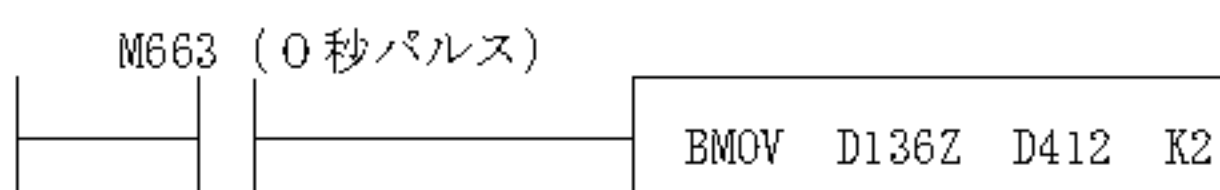
運転パターン	「時」テーブル		「分」テーブル		時刻の意味	
	コード	Z値	アドレス	設定時		アドレス
01	00	D46	07	D136	30	パターン1開始
01	/	D47	15	D137	00	パターン1終了
02	02	D48	10	D138	00	パターン2開始
02	/	D49	17	D139	30	パターン2終了
03	04	D50	08	D140	20	パターン3開始
03	/	D51	13	D141	50	パターン3終了
04	06	D52	11	D142	50	パターン4開始
04	/	D53	17	D143	30	パターン4終了
05	08	D54	11	D144	50	パターン5開始
~	~	~	~	~	~	~
07	12	D58	00	D148	00	パターン7開始
07	/	D59	00	D149	00	パターン7終了

「開始・終了時刻」の「時」格納レジスタテーブル (先頭D46) から  
インデックス位置の「開始・終了時刻」の「時」2つセットで読む。



今日の開始「時」と終了「時」  
D410 = 11  
「開始 時」 = 10時 (特2)  
D411 = 17  
「終了 時」 = 17時 (特2)

「開始・終了時刻」の「分」格納レジスタテーブル (先頭D136) から  
インデックス位置の「開始・終了時刻」の「分」2つセットで読む。



今日の開始「分」と終了「分」  
D412 = 50  
「開始 分」 = 50分 (パターン4)  
D413 = 30  
「終了 分」 = 30時 (パターン4)